

1. 教員および授業の概要

①教員名：松田 善臣 (Matsuda Yoshitaka)

②担当科目

博士前期課程：GIS 研究

GIS 特別演習

地域開発政策研究指導 I～IV

③教員のプロフィール

- ・2006年 琉球大学大学院理工学研究科総合知能工学専攻博士後期課程修了
- ・博士 (工学)

④所属学会

地理情報システム学会、電気学会、オペレーションズ・リサーチ学会、教育工学会、観光情報学会、経営情報学会、IEEE

2. 学生に対するメッセージ

本学のある浜田市では、2008年5月から「新交通システム」の運行を開始しました。これは、公共交通空白地帯に住む、特に高齢者の生活の足を確保することを目的に導入されたもので、現在、市内の3地区において運行されています。広大な面積を有し、市域の大半が中山間地域で占められている浜田市には、公共交通の空白地帯が多数存在しています。公共交通空白地帯をできる限り減らしていくため、今後も新交通システムの運行地域拡大が検討されています。需要の少ない中山間地域において、利便性を損なうことなく、いかにコストを抑えて運行できるかが、新交通システム継続運行のカギを握っていると考えています。新交通システムが今後も継続して運行され、地域住民の生活の足を確保していけるよう、私も微力ながら貢献したいと思い、調査・研究を行っています。

大学院の講義では、「GIS 研究」と「GIS 特別演習」という GIS (地理情報システム) に関連する2つの科目を担当します。GIS の活用範囲は多岐にわたり、社会科学においても GIS は研究上のインフラとして位置づけられるようになりました。GIS を用いて分析を行うための知識や技術を習得することは、地域研究を行うものにとって必須のものとなりつつあります。「GIS 研究」では、さまざまな分野において活用されている GIS の事例を学ぶことで、GIS の役割と重要性について理解を深めます。また、「GIS 特別演習」では、演習を通して各自の研究課題の中で、GIS を活用できるスキルを身につけてもら

いたいと考えています。